

・全世界:新型コロナウイルスの流行状況

新型コロナウイルスの累積感染者数は 3 月下旬までに約 1 億 2300 万人、死亡者数は約 273 万人になりました(米国ジョンホプキンス大学 2021-3-24)。3 月に入り世界各地で感染者数が増えており、とくに、ブラジル、米国、インド、フランス、イタリアでの感染者数が多くなっています(WHO Corona virus disease 2021-3-23)。こうした増加には変異ウイルスの発生が関係しており、英国型の検出は 125 か国、南アフリカ型は 75 か国、ブラジル型は 41 か国に拡大しています(WHO Corona virus disease 2021-3-23)。いずれの変異ウイルスも感染力が強く、英国型は病原性が高まっているとの報告もみられます。ワクチンに関しては、英国型には効果があるとされていますが、南アフリカ型には効果が減弱しているようです。日本でも英国型の国内感染が散発しています(国立感染症研究所 2021-3-9)。なお、日本政府は 1 月の緊急事態宣言の発出とともに水際対策を強化してきましたが、3 月 22 日の緊急事態宣言の全解除後も暫くは水際対策の強化を続けると発表しています。

https://corona.go.jp/news/pdf/mizugiwataisaku_20210318_01.pdf

・アジア:中国で鳥インフルエンザの患者発生

中国南部・広西自治区で 2 月に鳥インフルエンザ H5N6 型の患者(50 歳男性)が死亡しました(Outbreak News Today 2021-3-22)。中国では 2014 年以来、H5N6 型の患者が 30 人発生しています。また、四川省や安徽省などで今年になり H9N2 型の患者が 3 人(1 歳男性、5 歳女性、2 歳女性)発生し、いずれも軽症でした(Outbreak News Today 2021-3-2)。H9N2 型は 2015 年以来、中国で 43 人確認されています。

・アフリカ:コンゴとギニアのエボラ出血熱流行

コンゴ民主共和国東部の北キブ州で、1 月下旬からエボラ出血熱の流行がみられています。患者数は 3 月までに 12 人で、うち 6 人が死亡しました(WHO Africa 2021-3-23)。3 月になり新しい患者は発生しておらず、終息に近い模様です。西アフリカのギニアでも 1 月中旬からエボラ出血熱の患者が 18 人発

生し、9人が死亡しました(WHO Africa 2021-3-23)。同国では2013年から2016年までエボラ出血熱の大流行が発生しており、その再燃とみられています。

・ヨーロッパ:最近の結核患者数

ヨーロッパ(欧州経済領域内)では2019年に4万9000人の結核患者が発生しました(ヨーロッパCDC 2021-3-22)。これは人口10万人あたり9.6人の発生数になります。過去5年で新規患者数は減少していますが、外国人患者の割合が35%と増えています。なお、日本では2019年の新規患者数が人口10万人あたり11.5人で、ヨーロッパよりやや高く、外国人の割合は1割でした。

・南米:ブラジル南部で黄熱が流行

ブラジル南部のSanta Catarina州で黄熱の患者が2人発生しました(Outbreak News Today 2021-3-13)。この地域では黄熱に感染したサルの死体も多数見つかり、黄熱の流行が拡大している模様です。ブラジルに滞在する際には黄熱ワクチンの接種を受けるようにしてください。